

'85

No. 180号

1月号

迎春

《鹿部町町民憲章》

1. 話し合いのある明るい家庭をつくりましょう。
1. 元気にはたらき楽しい職場にしましょう。
1. きまりをまもり互いの立場を尊重しましょう。
1. スポーツに親しみたくましい心とからだをきたえましょう。
1. 自然を愛し郷土の文化を育てましょう。

輝かしい新春を迎えて

鹿部町長

川村 秀次



広報しかべ

町民の皆様、明けましておめでとございます。

希望に輝く昭和六十年の新春を皆様と共に迎えることができましたことを心からお慶び申し上げます。

平素は町政の執行につきまして深いご理解とご協力を戴き、この機会に改めて御礼を申し上げます。昨年は、町制元年という事で、町主催の行事は全て「町制施行記念」という名を冠し、町への昇格を祝った訳であります。本年は正に町としての真価を問われる重要な年になろうかと思ふ次第であります。

しかし、昨今の私たちをとりまく諸情勢は、依然として厳しく、

ますます緊張化する国際問題、国内的には臨調行革に伴う財政再建問題、高令化に伴う福祉問題、更には小康状態になりつつある経済もその内容を点検してみると好調な輸出とは対照的に、内需の先行きはなお不透明感がつきまとい、外需依存からの脱却——内需主導への転換は今や至上命題であり、依然として先行き不安の影響が見えかくれする厳しい状況下にあります。

ここで昭和五十九年を顧みると、当町においては大きな災害もなく平穏裡に暮れ、当町の基幹産業である漁業においてもコンブをはじめ例年並の状況であり、特にスケトウ漁においては例年になく豊漁でありました。

町政においては、住民の皆さんが切望していた鹿部小学校の改築に着手し、目下二月の完成を目指して着々と工事が進められております。

私は、町づくりは、人づくりに在る。事を基調として教育行政に力を注いで参りましたが、中学校は昭和五十四、五十五年度において校舎、屋体を全面改築し、幼稚園は昭和四十九年度に新築開園、

昨年度改修工事を行い、本年度の小学校の校舎改築と新年度に計画している屋体改築で教育施設はほぼ充実が図られる訳であります。恵まれた学校教育施設の中で、明日の鹿部を担う人々が育つことを期待するものであります。

また、暮の十二月定例町議会において議決を戴きました町政のこれからの指標ともなるべき「第一次鹿部町振興計画」については、町議会議員を始とし町内各階層の有識者二十人によりまず審議会において慎重かつ活発にご討議を戴き、その答申を受けて集大成をみた訳であります。

人は、それぞれ個性をもち、その人生観、社会観がその人の人生を大きく左右するように、町には町の培われた個性があり、その意味においてもこの振興計画は、これからの町づくりを進める上で総合的、計画的な町づくりの指針であり、又町政伸展の上からも重要な意義をもつものであります。

新計画では、所要資金総額一五〇億四五八万円の膨大な事業がもり込まれ、「二十一世紀に向けて豊かで住みよい町づくり」を基本理念に、①安全で快適な地域づくり、②自然と調和のとれた環境づくり、③健康で暮らしやすい福祉づくり、④創造性を育て情操豊かな町づくり、⑤豊かで活力ある産業づくり、⑥住民参加と効率的な

行財政づくりの各般にわたる基本目標が定められており、これの実現に全力を傾注する覚悟を一層新たにして参るものであります。

ここで昭和六十年度を展望するとき、先に申し上げたとおり非常に厳しい状況の中で六十年年度の国家予算編成においては、昨年度に引続き超緊縮型のいわゆるマイナスイメージとなっており、更には財源の不足等から補助金、助成金の削減をうち出しています。こうした国の財政方針は、交付税や補助金を主財源とする地方公共団体にとって非常に厳しいものであります。この難局を全力を傾け如何に乗り切るかが行政を託されている者の課題であり、責務でもあると思っております。

「清潔で明るい住民本位の行政」を基本理念に漁業の振興、教育の充実、福祉の向上及び生活環境の整備等を重点施策として活力あふれた豊かな鹿部町に、また思いやりと連帯感に満ちた地域社会の実現のため全力を挙げ町政の推進に努めて参る決意を一層新たにするものであります。

新年度においては、第二次振興計画のスタートの年であり、計画された小学校の屋内体育館の改築を実施し、学校教育施設整備の総仕上げをして参りたいと思ひます。更に、昭和五十七年度に着手をした山村広場が、いよいよ六十年

度には駐車場、電気工事、環境整備を計画し完成の運びと相成る訳であり、その実現に向けて最大の努力をして参りたいと思ひます。

また産業基盤整備においても、国、道、漁協との連携を更に密にし、漁港整備、ウニ礁の設置、築いそ（投石）、鹿部漁港内荷さばき施設の改築等の実現にむけ強力におし進める所存であります。

そして、町民皆さんの声を謙虚に受け止め、それを直ちに行政に反映させ、誰もが望む幸せな家庭、豊かな地域づくりを積極的に進め、これまで進めてきた行政をいささかも後退することなく、又期待に反しないよう努める決意を一層新たにして参るものであります。

新しい年を迎えるにあたり所信の一端を申し上げます。本年も変らぬご指導、ご鞭撻を賜りますようお願いいたしますと共に、皆さんのご多幸とご健勝を祈念し年頭のあいさついたします。

昭和六十年 元旦



年頭のことば

鹿部町議会議長
船橋竹治郎



において理事者あるいは町民のみ
なさんの努力、協力により諸施策
全体にわたり所期の目的を着々と
完遂されようとしております。中
でも中学校の全面改築の完成に続
き、町民待望の鹿部小学校の改築
に着手し本年二月に完成する運び
になっており町民のみなさんと
もにまことに喜びに堪えないとこ
ろであります。

私も、昭和四十六年二月議長の
要職に就任以来議会の円満な運営
と、町政の伸展を第一主義と考
え、誠心誠意努力してまいりました。
おかげをもちまして大過なく越年
することができましたことは、ひ
とえに町民皆様の力強いご支援と
ご協力のたまものと心から感謝の
意を表する次第であります。

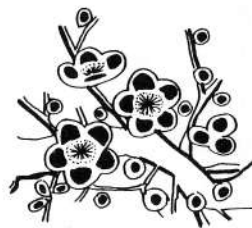
さて迎えます昭和六〇年は、理
事者並びに私共議員の改選期にあ
たりますが、私共といたしまして
は鹿部町における産業経済の全般
に及び厳しい環境が、そのまま町
行政上の課題としてその大方の解
決をあたらしい年に持ち込まれて
いるのであります。これらの問題
を処理するためには住民のあらた
な信託のもとで議会人としてその
あるべき姿勢を、住民福祉の増進
と、より豊かな地域社会づくりに
おいて努力を傾注してまいりたい
所存であります。
最近の内外をめぐる諸情勢から
してより以上に多事多端な年にな

るものと思われます。言うまでも
なく当面、厳しい社会情勢であれ
ばある程緊急な課題とされるのは、
財政の健全化をはかることにある
うと思うのであります。地域財政の
健全化は数年来言いつくされてき
ていることでもありますが、あた
らしい年にむかつて最も重要な課
題であり、私共地方議会に關与す
る者としては活動目標をこれに集
約し、冷静沈着且つ勇氣をもって
自らの経費節減と行財政の運営等
合理化を果敢に断行し公平にして
各種施策の着実な実現を図り、潤
いと安らぎのある生産豊かなしか
も文化の高い町づくりのため周到
にして細心の注意を払い積極果敢
に邁進すべきであると思うのであ
ります。

昨年十二月議決されました第二
次鹿部町振興計画の中に基本理念
として「二十一世紀に向けて豊か
で住みよい町づくり」とあります。
限られた財源を如何に有効に活用
し住民の要求に應えて血となり肉
となり得る施策を樹立し実施しな
ければなりません。この振興計画
に基き基幹産業である漁業の近代
化と増養殖漁業の振興、高令化社
会を迎え老人福祉対策の問題、更
には重点事項である医療体制の整
備や青少年の未来に明るい夢をも
たせる教育文化施設の充実に一層
の努力をしていかなければならな
いと決意をあらたにしている次第

であります。もとより理事者、議
会の各々の分限をわきまえながら、
その機能を逸脱することのないよ
う、然も施策の推進に当っては
心同体となつて対応する心構えを
念頭に、先進地町村の足跡を学び
堅実な住民参加の在り方を捉え今
後に処さなければならぬものと
痛感しております。

どうか本年もより一層の御支援
御協力をお願い申し上げます、町民皆
様にとりまして幸多き年でありま
すよう祈念いたしました新年のご
あいさつと致します。
昭和六十年 元旦



つつしんで

新春の御祝詞を

申し上げます

- 町長 長川村秀次
- 助役 役村正夫
- 収入 役松崎繁四郎
- 教育 長松本健藏
- 総務 長橋田政治
- 民生 長盛田栄一
- 税務 長岡崎英夫
- 企画管財 長松崎英夫
- 産業 長相沢正士
- 建設 長松本豊勝
- 水産 長古城保弘
- 水道 長小田博久
- ミンク公営 長熊谷秋雄
- 学校教育 長佐々木成克
- 社会教育 長土谷文男
- 給食センター 長川村正美
- 議事事務局 長小玉隆志
- 鹿部消防署 長小玉隆志
- 外職員 一同

年頭にあたって

北海道知事
横路 孝弘



ロケラムともいふべきこの計画も、やはり共同作品としてつくりあげていきたいと考えております。このため、昨秋から道内各地で地域のみなさんとの対話を重ねてきました。さらに、多くのご意見を伺い、奥行きと広がりのある計画としてまいります。

今年、「国際青年の年」であり、青年のエネルギーこそ新時代を切り開く原動力となるものですが、この共同作品としての「新しい総合計画」も、そうした青年たちの手によって、やがて実現に移され、二十一世紀の日本をリードする北海道が築かれることになるでしょう。

そして、それは、子々孫々に至るまで誇りをもって引き継いでいける北海道であると、私は、信じております。

思えば、昨年は、景気の低迷がもたらした数々の難しい問題がありました。しかし、みなさんのお力添えによって、一つ一つ解決しながら道政を進めることができました。

深く感謝しております。また、久し振りの豊作に恵まれましたが、今年も引き続き、実り多い明るい年になってほしいと願っております。いま、各地で大きな盛り上がり

道民のみなさん、新年おめでとうございます。この年が、みなさんにとって、また、北海道にとって、よき年でありますことを祈っております。今年、戦後四十年という一つの節目であると同時に、あと十六年後に迫った二十一世紀への序章ともなるべき年であります。私は、大きな世紀の転換点の前にして、昨年から取り組んでいる「新しい総合計画」づくりを、今年に本格的に進めてまいりたいと思っております。かねてから私は、道政を道民のみなさんとの共同作品にしていく——と申しあげてまいりましたが、二十一世紀の北海道を展望するプ

をみせている一村一品運動も、村おこし町おこしへの弾みとなりつつあり、たいへんうれしく思っております。それぞれの分野でお仕事をなさっている道民のみなさん。どうか今年も、何よりも健康でありますように。

そして、新しい北海道の創造に向かって手を携え、知恵と力を結集し、ともにがんばってまいります。今年も、よろしくお願いいたします。昭和六十年 元旦

年頭のごあいさつ

渡島支庁長
真部 裕



明けましておめでとうございます。希望に満ちた昭和六十年の新春を皆様とともに迎えることができ、ましたことは誠に喜びにたえません。さて、昨年を振り返りますと、石油危機以来長期にわたって低迷を続けてきた我国経済は、緩やかな回復基調に向かっていると云われるものの、本道はその経済基盤の弱さから景気の回復が立ち遅れ、そのため企業倒産があいつぐなど依然として厳しい年でありました。

また、管内をみますと、基幹産業のひとつである函館ドックが長引く造船不況により経営危機に見舞われ、さらには国鉄松前線が第二次地方交通線として、その廃止がとりざたされるなど、地域社会に深刻な影響を与える大きな課題に直面しました。

しかしながら、函館ドックは、来島グループの傘下に入ることに、また国鉄松前線は最近の乗車率等の増加により当面最悪の事態だけは避けることができました。一方、明るい話題も多く、四年

続きの冷害に見舞われた農業も天候に恵まれ、水稲を中心として丈巾な豊作となつたほか、七月には函館市を中心とする一市三町が、テクノポリス地域の指定を受け、新たな工業開発の推進に向けて第一歩を踏み出しました。

これからの渡島は、温暖な気候や美しい景観などの自然条件、本州との最短距離に位置するという地理的条件、さらには歴史と伝統にはぐくまれた風土など、優れた特性を十分に生かした発展方向を、目ざして行くことが重要と考えます。

そのためには、青函トンネルの有効利用や新幹線鉄道の建設促進により本州経済圏との積極的交流、「テクノポリス函館」の推進、地場産業の振興と村おこし、町おこしを結びつけた地域活性化、自然と歴史を生かした観光開発などを積極的に進めて行く必要があります。

私は、今後も皆様ともどもこれらの課題のひとつひとつを解決しながら、明日の豊かな渡島の創造をめざして、一層の努力をしたいと存じます。皆様の一層の御理解と御協力を、お願いいたします。

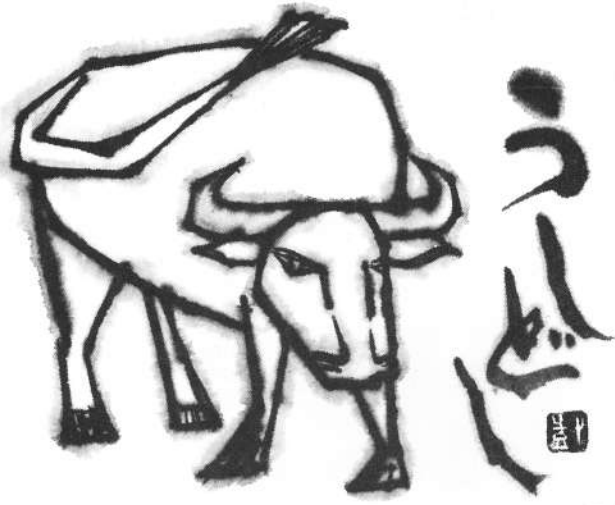
輝かしい年頭に当たり、限りなき可能性を秘めた渡島の振興発展のため、一層の御精進をお願い申し上げます。皆様、御健康と御多幸を心からお祈り申し上げます。年頭のごあいさつといたします。昭和六十年 元旦



あけまして

おめでと〜うございませ

昭和六十年 元旦



交通安全は家庭から

交通安全家族会議

「道路を渡るときは左右の安全をよく確かめて」、「横断歩道は手を挙げて渡ろう」――。お子さんに言い聞かせる交通安全の注意事項はたくさんあります。しかし、小さなお子さんの場合、言葉の意味が分からなかったり、分かっている遊びに夢中になっ

たりすると、注意を忘れて急に道路に飛び出してしまふ、といったことが少なくありません。お子さんに交通安全について話をするときは「手を挙げるのは、道路を渡る姿が運転手さんによく見えるようにするためよ」、「道を渡るときは左

と右をよく見て、車が止まってから渡りましょうね」と、できるだけ分かりやすく説明してあげましょう。正月は家族のそろう時間が多いことと思います。この機会にお父さん、お母さん、お子さんと、それぞれの立場の交通安全について話し合い、また、話し合ったことを実行して、この一年を事故に遭わない良い年にしてください。

あけましておめでと〜うございませ

今年(今年)は牛(牛)というどんな連想をしますか。のんびり、のっそり、それとも厚いビフテキ、牛肉の貿易自由化問題、と思いはさまざまでしょう。

近ごろ、若い人のマスコットとして、なぜか白と黒の牛が流行しています。牛が役牛として田畑を耕しているのを見たことのない若者たちには、牧場でのんびりと暮らしている乳牛は、童話の世界に出てくるようなペットとしてのイメージが強いのでしょう。

しかし、歴史をさかのぼってみますと、牛は、ペットどころか、新

今年(今年)は牛(牛)年

技術(技術)が分かります。牛に引かせた(牛)による耕作は、紀元前三〇〇〇年ごろ、メソポタミア(現在のイラクを中心とした地域)やエジプトで「発明」されたいた(いた)そうです。この新技術は、(牛)による耕作

に比べ、はるかに広い田畑を深く掘り返すことができ、農業の生産力に革命的な進歩をもたらした、(牛)ということ(牛)です。

その後、農業のほか交通、運搬などにも牛が用いられるようになり(牛)ましたが、これは、人間が自分

の肉(肉)体以外の力を動力(動力)に利用した最初の試(試)みの一つ(一つ)だとされています。そして、十七(十七)〜十八(十八)世紀になつて蒸気機関(蒸気機関)が発明(発明)・実用化(実用化)されるまで、牛(牛)をしのぐ技術(技術)上の進歩は見(見)られないとい(い)いますから、いかに長い間(間)、牛(牛)が新技術(新技術)として、君臨(君臨)してきたかが分(分)かります。

とはい(はい)え、最近(最近)では、め(め)つたに牛(牛)の働く姿(姿)が見(見)られなくなり(なくなり)ました。かつての新技術(新技術)も、いま(いま)やす(やす)っかり耕(耕)うん機(機)などに、その座(座)をう(う)ば(う)わ(う)れ(う)て(う)し(し)ま(し)ま(し)た(た)よう(よう)です。

さて、今年(今年)の牛(牛)年(年)、モウ烈(烈)に生(生)きるも(も)よし、のんびり(のんびり)りと人生(人生)を反(反)芻(芻)しながら生(生)きるも(も)よし、とも(とも)かくも角(角)つき合(合)わ(わ)さ(さ)ず(ず)に仲(仲)よくい(い)きたい(たい)も(も)です。

完成まじか。順調にすすむ 鹿部小学校々舎改築工事

—着々と進む町づくり—

2月末には完成の予定



総工費
五億六、八四〇万円

鉄筋コンクリート二階建

総面積 三、二八八㎡

一階 一、六三三㎡

二階 一、六五五㎡

普通教室 一五

特別教室 七

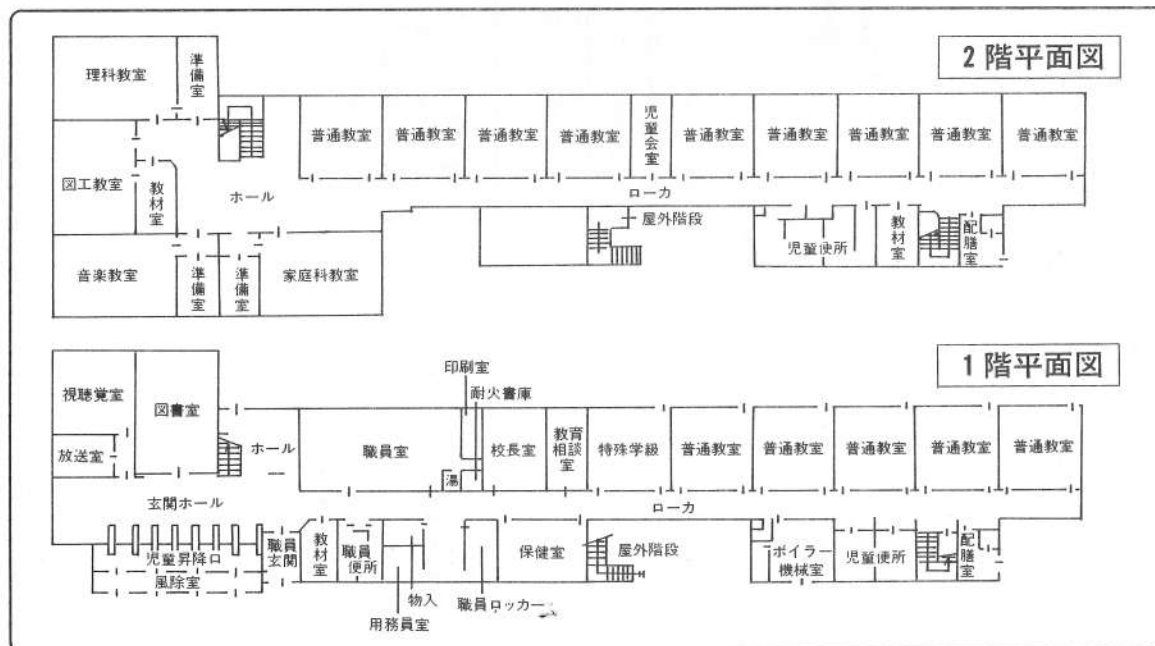
その他職員室、児童会室など

町の本年度の重点事業の一つである鹿部小学校々舎の改築工事は、二月二十八日の完成を目指して着々と工事が進められています。

現在の校舎は、昭和二十九年、三十年に建てられたもので、その後特別教室等が増築されたもので、老朽化がすすみ、耐力度調査を行ったところ、危険校舎に認定され、改築することとなったものです。

工事は、順調に進み、二月の完成に向けて着々と進められています。

新年度には、同小の屋体改築が予定され、中学校、幼稚園と共に当町の教育施設は、これで充実が図られることになり、恵まれた学校環境で育つ人たちが、あすの鹿部を担うことでしょう。



—町づくりの指針—

第二次鹿部町振興計画 策定される。

昭和60年度を初年度とし、69年度を目標年度とした10年計画
 基本理念 — 「21世紀に向けて、豊かで住みよい町づくり」

●実施計画総括表

区 分	総 事 業 費	構成比
基礎的條件の整備計画	1,675,980	11.2
生活環境の整備計画	2,427,200	16.1
社会福祉計画	90,000	0.6
教育文化の振興計画	1,810,900	12.0
産業振興及び資源開発計画	9,041,500	60.1
計	15,045,580	100

●主な計画事業

事 業 名	事 業 費	計画年度
町道整備事業	736,000	60~69
治山・治水事業	702,380	60~69
防災無線整備事業	144,000	60~69
上水道施設増補改良事業	393,180	60~69
保健センター建設事業	80,000	63
診療所建設事業	60,000	60~69
火葬場建設事業	67,000	64
小学校屋体改築事業	207,800	60
町民温水プール建設事業	200,000	62~69
ファミリースポーツセンター建設事業	650,000	64~69
郷土資料館建設事業	80,000	68
漁場改良事業	555,000	60~69
沿岸漁業整備開発事業	1,241,000	60~69
種苗放流事業	159,000	60~69
漁港整備事業	1,138,600	60~69
地域沿岸漁業構造改善事業	250,000	60~69
林道整備事業	987,000	60~69
消防施設整備事業	93,600	60~69
温泉街々灯新設事業	10,000	61~68
ミンク冷蔵庫建設事業	17,920	61~65

鹿部町の地域振興と住民福祉の向上を図るため、六十年度を初年度とし、六十九年度を目標年度とした十ヶ年にわたる町第二次振興計画が、十二月の町議会定例会において可決されました。

昨年四月に任命された委員三十人により組織された審議会（会長 船橋竹治郎町議会議長）に五月七日に諮問し、審議会では基盤整備・社会開発・産業振興・行財政の四つの専門委員会及び全体会議で慎重かつ活発な討議を重ね十一月二十日に町長へ答申しました。

町長は、その答申を受け内容を検討し、十二月町議会に提案し策定の運びとなったものです。

これまでの第一次総合計画は、昭和五十一年十二月に、五十二年を初年度とし、六十一年度を目標年度として、均衡と調和のある明るく豊かな町づくりのため策定されたものですが、実施計画の90%達成と社会・経済の進展及び町制施行等の理由で、見直しを含め、第二次計画の策定となったものです。

第二次振興計画では、二十一世紀に向けて、豊かで住みよい町づくりを基本理念に、①安全で快適な地域づくり、②自然と調和のとれた環境づくり、③健康で暮らしやすい福祉づくり、④創造性を育て、情操豊かな人づくり、⑤豊かで活力ある産業づくり、⑥住民参加と効率的な行財政づくり、の六つの基本目標を掲げ行政各般にわたって計画されています。

実施計画では、所要資金総額が一五〇億四、五五八万円の膨大な事業がもたらされ、これからの町づくりの大綱を定めています。



審議会

こころの抱負

こころは、牛の歩みのようにゆつくりでも堅実に進みたいものです。そこで、丑年生まれて、町内に住んでいる方々から、無作為に抽出して今年の抱負等をひとつ一つ伺ってみました。

みなさんは、それぞれ新鮮な気持ちで新しい年を迎えられたことと思いますが、あなたにとって今年の決意のほどは…。

ほぼさんめざして頑張る



五年一組 松浦 千秋
私は、将来なんになろうか迷っています。『ほぼさん』、スチュワーデス』どっちにしようかな…とまよっています。

私は、小さな子供が大好き。特に、わらい顔、わらい声、ね顔がとても大好きです。気もちよさそうにねている赤ちゃん。私の小さなころもこのようだったのでしょうか。

スチュワーデスは、乗りものが好きだし、飛行機に乗るのも大好き、でも少し不安なのは、私はあまり気がやさしくないことです。もっとやさしい人になって、老人

将来は看護婦さんに
私のゆめは、かんごふになることです。
ようち園の時からずっと思っていました。
はじめは、ただあこがれているだけでした。
でも、本当にかんごふになったら、動けないかん者さんの体をふ



五年三組 柳沢美栄子
私のゆめは、かんごふになることです。

を大切にいたわったり、どんな人でも差別しないで親切にめんどうをみたり、困っている人を心から助けてあげたりすることができ人間になりたい。
もし、私がどちらかになれるとしたら、ほぼさんになりたいと思う。赤ちゃんってかわいいもん。かわいだけで、ほぼさんにはなれないと思うが、今年からはほぼさんになれるよう頑張る。

お父さんのあとつぎに



五年二組 工藤 直

ぼくは、はじめ大人になつたらすしやか商店がやりたいかった。ようち園のころはお父さんの後

いて、清けつにしてあげたり、ねたきりの人には、とこずれしないようにふとんを整えたり、いろいろな仕事をしてみたいです。
でも、あこがれだけでは、かんごふにはなれないと思います。
かんごふは、病人を預るので、責任がおもく、かんたんにできる仕事ではありません。
だから私は、やさしくて、最後まで責任がもてるかんごふになりたいです。
でも、鹿部には、大きな病院がないので、私が、かんごふになるまでに、大きな病院ができると思います。
そうしたら、その病院のかんごふになり、鹿部の人たちの、いろよくをしたり、コンプとりをやったりすることにしたい。
いくら仕事がつらくても、何があっても漁業をやりたい。
それに、ぼくは将来この鹿部町を住みよい町、他の町から来た人いい町だといってもらえる町にしたい。そんな町になればいい。
そのためには、みんなが力を合わせて、みんなで努力しなければならぬ。
みんなで力を合わせれば、かならずできると思う。今年からは、こういう気持ちをもつて行動したい。

思考力を深めたい



地方公務員 永沢 和夫

年男として三十六回目の新春を迎えましたが、今までを振り返ってみると、毎年「今年こそは」の決意で始まり、年の瀬には、ただだ性で過したと反省するくり返しでした。

私は、役場民生課で国民年金の仕事を担当し、住民の皆さんと毎日接する仕事をしています。牛年生まれの子供が、与えられた仕事を無難にミスなくこなすように、また、窓口での接客でも何も考えることなくだ性でしてきたと反省しています。

今、時代の流れは、コンピューター等により機械に動かされる方向に向いていますが、万物の霊長「人間」を自覚し、仕事に使われることなく考えを深め仕事をより迅速、適格に処理し、接客にも気を配り私のエト「丑年」を意義ある年にしたいと考えています。

年男・年女の今年の抱負

園児のために



幼稚園教諭 加藤 末子

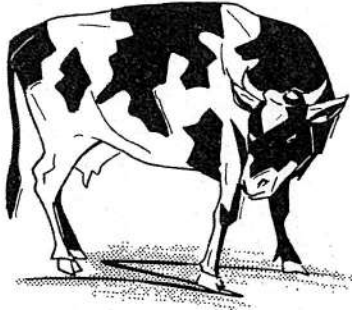
鹿部に生まれ、潮騒を子守唄に育ち早や二十一年が過ぎました。私は、しかべ幼稚園に勤める漁業の町、温泉の町をこよなく愛している一人です。

学校を卒業したら「幼稚園教諭に」の希望もかない、今は責任の大きさを痛感しています。毎年新入園児を迎える度に「初心にかえ

り、この子供たちの為に何かを」と決意するのですが、反省の多い年の瀬を迎えます。

特に今年は、年のエト「牛年」ですので、常に子供たちの話し相手となり、純粋な心・従順な心をいつまでももち続けるように、更には、他人に迷惑をかけず、自分の考えを話せ、人の話を最後まで聞ける子、そして他人に思いやりをもったやさしい子ども、自分のことは自分でできる子、何事もあきらめずに最後までやり抜く子になれるよう集団生活のスタートを受けもつ仕事として私はこれらの事を念頭におき、今年を一生懸命頑張りたいと思います。

我が郷土「鹿部」を発展させるのは、この子ども達なのですから……。



年男・年女の今年の抱負

家族全員病氣もしないで



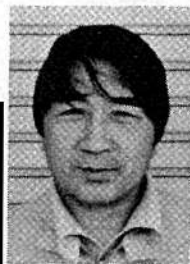
主婦 平田 敏子

私は、鹿部で生まれ、育った今年で三回目の「年女」です。

「光陰矢の如し」の言葉どおり月日の流れは早く、若いと思っていながらも「三十路」の半分を過ぎました。子供も今年の四月には中学三年と二年、小学校五年になりました。兄弟そろってスポーツをしています。兄弟は、弟が中学校野球部に在籍している関係で札幌で行われた全道大会にも応援に行きました。今年も地区大会を勝抜いて全道大会、全国大会に行ってもいいなと思っています。そう

なったら勿論応援に行きます。兄には、スポーツもそうですが、勉強にも頑張ってもらいたいと思います。本人は、夫のあとをつぐため、函館水産高校に行きたいと思っていますので頑張ってもらいたい。今年も、私のエト「ウシ」年です。牛歩でも堅実に、家族全員病気をしないで過ごしたいと思

豊かな漁業の町づくりに



漁協職員 小田 金一

多忙をきわめた昭和五十九年は静かに暮れ、希望に輝く昭和六十年を迎え、感慨も新たに過去の反省とこれからの決意を新たにすものであります。漁協職員となつて二十八年にな

頑張っている年に



漁業 伊藤 政義

今年、私の迎える五回目の「丑年」満六十才の年です。私は、漁師でタコとりと天然コンブとりをしています。年々漁業をとりまく環境が厳しくなつて

りますが、町や漁協の本質を良く理解してはなかつたように思います。

今日の我が国における漁業をとりまく状況は、非常に厳しく外国船の無謀操業等により生産量の減退、輸入の増大、更には消費者動向による魚価の変動、加えて燃油価格の高騰により漁船漁業経営は厳しさを増しています。しかし、野山の木立が、やがて来る春には清らかで艶やかな若葉を出すため雪にうもれてじっと待つように、厳しい風雪に耐え、豊かな漁業の町づくりに努めたいと思います。

います。幸い、タコとり漁は毎年割と安定した水揚げをしています。昨年は、資源の枯渇化でここ数年不振であったスケソウが大漁で、浜にもしばらく振りに笑顔がもどりました。今年も豊漁するようにと願っています。

昨年の十一月には、私の末娘を嫁にやって、これで子供は全員がたつぎ、親の責任を果してはつとしています。今年も、時間をつくって旅行にでも行ければと思っています。何はともあれ、今年私のエト「ウシ」一生懸命頑張っている年にしたいと思

ご存知ですか

サラリーマンの確定申告

申告すると税が戻ってくる場合

サラリーマンの所得税は年末調整で精算されます。ですからサラリーマンには確定申告は関係ないと思われている方もいるのではないのでしょうか。しかし、次のような場合は、確定申告をすれば所得税が戻ってきます。

雑損控除

災害や盗難に遭った場合

災害や盗難、横領により、住宅や家財に損害を受け、その損害額（保険などで補てんされた金額を除く）がその年の所得金額の10%を超えた場合、越えた部分の金額が雑損控除として、所得金額から差し引かれます。

なお、損害額には豪雪地帯における雪降ろしの費用なども含まれ

この場合は、原則として五万円を超える額が控除されます。

医療費控除

病气やけがなどでお金がかかった場合

病气やけがなどで、多額の医療費（保険などで補てんされた金額を除く）を支払い、その額が五万円またはその年の所得金額の5%のいずれか少ないほうの額を超えた場合、超えた部分の金額が医療控除として所得金額から差し引かれます。

ただし、美容整形や健康診断の費用、健康増進のためのビタミン剤などは、医療費に含まれません。

住宅取得控除

家を新築したり購入した場合

住宅を新築したり、購入する際

民間の金融機関等から住宅ローンの融資を受けるなど、一定の要件に当てはまるときは住宅取得控除が受けられます。

この控除は、入居した年から三年間にわたって所得税額から一定額が差し引かれます。

確定申告しなければいけない場合

次のようなときは、サラリーマンでも確定申告しなければなりません。

- ① 給与の年収が1,500万円を超えるとき
- ② 給与と所得や退職所得のほかに20万円を超える所得があるとき
- ③ 2か所以上から給与をもらっているとき
- ④ 同族会社の役員などで、その会社から給与のほかに貸付金の利子、店舗・工場などの賃貸料、機械の使用料などの支払いを受けているとき
- ⑤ 災害を受け、昭和59年の給与について災害減税法により、源泉徴収の猶予や源泉徴収税額の還付を受けたとき

所得税の確定申告の期間は、2月16日から3月15日までです。正しい申告と納税を期限内に済ませましょう。

雑損控除や医療費控除、住宅取得控除などによる還付申告は、一般の確定申告が始まる二月十六日より前でも受け付けています。

それぞれの控除について詳しく知りたい場合は、函館税務署（☎〇一三八―二一四―二三一）へお尋ねください。

さわやか君
西村 宗



1月の救急病院

- 1月13日……沢田 医院（鹿部町）☎0138(7)2105
- 1月15日……笹本 病院（七飯町）☎0138(65)7131
- 1月20日……野本 医院（大野町）☎0138(77)8140
- 1月27日……遠藤 医院（七飯町）☎0138(67)2070

診療時間は午前9時～午後4時